

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 13 日現在

機関番号：32618

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2016

課題番号：26580054

研究課題名(和文) グローバル社会における女性のキャリア形成とネットワーク構築 文学研究の視座から

研究課題名(英文) The literary study on women's career development and building of network in global society

研究代表者

志渡岡 理恵 (Shidooka, Rie)

実践女子大学・文学部・准教授

研究者番号：80597526

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、ライフ・ライティングや学校小説などの文学作品の分析を通して、18世紀後半から20世紀前半にかけて、イギリスでは女性のキャリア形成がどのように変化したかを考察した。その結果、19世紀後半の女子教育改革により女子の中等・高等教育が始まったことが、その変化に大きく影響していることが明らかになった。19世紀前半までは、エリザベス・フライのケースのように、宗教団体のネットワークを利用して多様な活動をグローバルに展開するルートがあったが、女子教育改革以降は、学校という場がキャリア形成に必要な知識や価値観、人的ネットワークを提供し、女性のキャリアへの意識の変化を劇的に促した。

研究成果の概要(英文)： This study examines how women's career development changed in Britain from the later eighteenth to the first half of the twentieth century through the analysis of literary works such as women's life-writings and girls' school stories. The higher education of women which was launched in later nineteenth century had a great influence on the change. Before that time, it was possible for women to work globally using the network of religious groups. After the educational reform, the school provided girls with the knowledge, values and network which were necessary to develop their careers, and drastically changed their views of career.

研究分野：イギリス文学

キーワード：キャリア形成 女子教育 グローバル化 イギリス文学 階級

1. 研究開始当初の背景

1990年代後半以降、女性の生のありようと自己表現に対する関心の高まりとともに、*Life-writings by British Women, 1660 - 1815: An Anthology* (2000) のようなアンソロジーが組まれたり、*The Unsociable Sociability of Women's Lifewriting* (2010) などの研究書が出版されたりと、ライフ・ライティング研究は盛んに行われるようになった。しかし、女性のキャリア形成に対する意識に焦点を当てた文学研究は国内外ともまだない。また、女子教育改革については、*Bluestockings: The Remarkable Story of the First Women to Fight for an Education* (2009) をはじめとする数多くの研究書があるが、女子の学校小説に関する包括的な研究は国内外ともにまだなされていない。

筆者は平成24年度から25年度にかけて「20世紀前半イギリスの『新しい少女』—女学校文化とガールガイド文化」に関する研究を行った。これは、女子の中等教育が始まった19世紀後半から20世紀前半のイギリスにおいて、どのような新しい少女文化が誕生し、少女たちの意識がどのように変化していったのかを明らかにすることを目指したものである。研究を進める中で、この時期の女子教育と少女文化は少女を外＝社会へと向かわせる志向を共有していることが分かった。この教育と文化における新たな動向がその後の少女たちのキャリア形成にどのような影響を与えたのか—本研究はこの問いを出発点に着想したものであり、女性の中等・高等教育の問題をキャリア形成の問題へと接続していく試みであった。

2. 研究の目的

本研究は、女子の中等・高等教育が始まり、女性にも多様なキャリア形成が可能になった19世紀後半以降のイギリスにおいて、女性がどのような意識をもってどのようなキ

ャリアを形成していったのかを、学校教育がおこなわれる以前の女性の場合と比較しながら、ライフ・ライティングや学校小説を中心とする文学作品の分析によって明らかにしていくことを目指すものである。女子教育と女性のキャリア選択に関する歴史学および社会学の分野における研究成果を参照しながら、統計からはなかなか見えてこない女性の意識の部分を文学研究の視座から分析することにより、女性のキャリア形成に関する問題のより精緻な分節化と体系化に新たな知見を提供することが本研究の目的であった。

3. 研究の方法

研究は、以下の3つの段階に分けて進めた。

第一に、女子の学校教育が始まる前のイギリスの女性のキャリア形成について、18世紀後半から19世紀初頭にかけて、クエーカーのネットワークを利用して慈善活動をグローバルに展開したエリザベス・フライの日記、手紙、著作や、彼女の活動に関する資料を収集し、分析した。

第二に、女子の中等・高等教育が始まった19世紀後半以降の女学校小説および女子大生小説を分析することにより、学校教育を受けた10代～20代前半の少女たちが自らのキャリアについてどのような意識を持つようになったのか分析し、その結果をまとめた。

第三に、20世紀により教育の機会が広がった労働者階級の女性が、どのような制度やネットワークを利用してキャリアアップを成し遂げていったのかを、マーガレット・パウエルの事例を中心に調べ、分析結果をまとめた。

具体的には、以下の手順で研究を行った。まず、*The Angel out of the House: Philanthropy and Gender in Nineteenth-Century England* (2002) などの研究書を用いて、18世紀末から19世紀イギリスの女性の慈善活動の実態を把握した。そのうえで、エ

リザベス・フライの *Observations on the Visiting, Superintendence, and Government, of Female Prisoners*(1827)をはじめとする著作、日記、手紙を分析した。その際、*The Excellent Mrs Fry: Unlikely Heroine* (2010) や、*An Introduction to Quakerism* ((200)のような二次資料も参照し、フライがどのようにネットワークを構築し、慈善活動をグローバルに展開していったかを明らかにした。

次に、*Bluestockings: The Remarkable Story of the First Women to Fight for an Education* (2009) などの研究書を用いて、19世紀後半から20世紀前半のイギリスの女子教育改革について調べた。そのうえで、*A Popular Schoolgirl*(1920)をはじめとするアンジェラ・ブラジルの女学校小説や、L.T Meade の *The Girls of Merton College* (1898)、アニー・エドアーズの *A Girton Girl* (1885)のような女子大生小説を収集し、分析した。そして、女子の中等・高等教育が10代~20代はじめの少女たちのキャリア形成にどのような影響を与えたかを考察した。

さらに、*Working -Class Girl in Nineteenth-Century England: Life, Work and Schooling* (1997)や、*Life Below Stairs in the Twentieth Century* (2010)などの研究書や、*Toilers in London; or Inquiries Concerning Female Labour in the Metropolis* (1889)、*Women's Work and Wages: A Phase of life in an Industrial City* (1907)のような当時の資料を用いて、19世紀後半から20世紀の労働者階級の女性の生活史と、成人教育をはじめとする支援制度・組織について調べた。そのうえで、マーガレット・パウエルの自伝、チャーチルの秘書だった女性の手紙、店員と法律時事務所の秘書の日記と手紙などのライフ・ライティングや、*The Type-Writer Girl* (1897) といったキャリア・ガールをとりあげた小説を収集し、分析した。

最後に、上記の研究結果をまとめ、18世紀~20世紀イギリスにおける女性のキャリア形成について総合的に考察を行った。

4. 研究成果

教育をはじめとする社会環境の変化により、女性のキャリア形成の意識はどのように変化するか—この問題を解明するのに最も有効なのはライフ・ライティングを中心とした文学テキストの分析である。これまで、女性のキャリア形成の問題は、統計に基づいた社会学・歴史学の分野における研究が中心であった。しかし、統計から人間の複雑な意識のありようはなかなか見えてこない。本研究は、女性のキャリア形成の問題を意識という側面に焦点を当てて考察し、他分野の研究成果に接続することで、女性のキャリア形成の問題をより精緻なカタチで分節化することに貢献できたと考える。

具体的には、19世紀~20世紀イギリスにおける女性の多様なキャリア形成のありようや意識の変化の一端を詳らかにすることができた。エリザベス・フライに関する分析からは、現在のNPOのような非営利団体における女性のグローバルな活動の展開の仕方が、女学校小説および女子大生小説に関する分析からは、学校教育が女性のキャリア形成に与える影響が、マーガレット・パウエルに関する分析からは、成人教育が成人女性のキャリア形成にどのように貢献することが可能なのかが見えてきた。

本研究の特に大きな成果としては、女性のキャリア形成の問題を、学校教育ばかりではなく、非営利団体や成人教育も視野に入れた点が挙げられる。学校教育を受ける機会がなかった女性たちは、柔軟な発想と強い意志で、様々なネットワークや機関を利用しながら、多様なキャリア形成を行ってきた。本研究は、クエーカーという宗教団体のネットワークを利用して、社会貢献のための活動をグローバルに展開したエリザベス・フライや、キッ

チン・メイドという当時のイギリスの階級社会では最下層に近い立場から料理人にまでのぼりつめ、成人教育を受けてベストセラー作家になったマーガレット・パウエルのライフ・ライティングをも研究の対象に含んだ。このように多角的な視点から女性のキャリア形成について考察する研究はこれまでなされていなかった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

1. 志渡岡理恵「「グローバルなロマン主義時代」の旅行記研究」、『イギリス・ロマン派研究』、無、39・40 合併号、2015 年、157-161 頁
2. 志渡岡理恵、「女性の旅行記とグローバル・ヒストリー」、『日本ジョンソン協会年報』、有、38 巻、2014 年、10-13 頁

[学会発表] (計 3 件)

1. 志渡岡理恵、「カムフラージュする文化——スクールガール小説と女子大生小説」、第 87 回日本英文学会全国大会ワークショップ、2015 年 5 月 24 日、「立正大学(東京都(品川区))」
2. 志渡岡理恵、「大学はユートピア?——イギリスの女子大生小説から教育の可能性を探る」、実践女子大学公開市民講座、2014 年 10 月 24 日、「実践女子大学(東京都・渋谷区)」
3. 志渡岡理恵、「グローバルなロマン主義時代の旅行記研究」、第 40 回イギリス・ロマン派学会全国大会シンポジウム、2014 年 10 月 19 日、「茨城大学(茨城県・水戸市)」

[図書] (計 2 件)

1. 志渡岡理恵 (久守和子他編著)、ミネルヴァ書房、『旅にとり憑かれたイギリス人——トラヴェルライティングを読む』、2016 年、326 頁 (249-268)
2. 志渡岡理恵 (日本ジョンソン協会編著)、開拓社、『十八世紀イギリス文学研究第 5 号——共鳴する言葉と世界』、2014 年、307 頁 (148-162)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：

種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者
志渡岡 理恵 (Shidooka Rie)
実践女子大学・文学部英文学科・准教授

研究者番号：80597526

(2) 研究分担者 ()

研究者番号：

(3) 連携研究者 ()

研究者番号：

(4) 研究協力者 ()